

令和3年度 自己評価結果公表シート 大王谷幼稚園

1.幼稚園の教育目標

- 幼稚園の目標：子どもの自立と共生の心を育む
- 子どもの自立を促すために：「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2.本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1.遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動をする教育の充実に努める。
- 2.規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。
- 3.幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
- 4.安心して安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。
- 5.幼稚園と小学校との連携を推進する
- 6.地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
1.教育活動の充実	A	子どもの興味を捉えて、年齢・発達に応じた環境を工夫し、子どもが主体的に進めている遊びの展開や広がりから保育や行事内容を計画し、取り組んできた。
2.道徳指導等の充実	A	場面に応じた個別対応や子ども達と共有する機会の中で、教師が一方向的に話して伝えるのではなく、自分達で考えることや伝え合うことを仲立ちしてきた。
3.基本的な生活習慣	A	基本とする姿について教師間で共通理解を図り、年齢に応じた関わりを認めながら丁寧に繰り返してきた。個人差はあるが、自ら進んでやってみようとする態度や行動へとつながってきている。
4.安心して安全な幼稚園	A	危険箇所を察知した場合や日常生活場面での気付きは職員間で情報共有し、改善策に努めている。感染対策としてマスク着用・消毒・黙食等が習慣となりつつある。保護者の協力を頂きながら拡大防止に努めてきた。
5.小学校との連携	B	コロナ禍で変更や制限はあったが、年長児が小学校へ出向いて交流する場や引き継ぎ等の情報交換の機会も設けられている。市や小学校との連携もリモート会議を通して行われている。
6.豊かな交流体験の充実	B	コロナ禍で状況を見ながらの限られた交流となった。戸外遊びの環境構成から異年齢で遊ぶ場面ややり取りが自然と見られていた。学年でのごっこ遊びの広がりが異年齢交流へとつながっていた。

4.幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	コロナ禍での生活の仕方は習慣化しつつあり、自ら気付いての行動も見られるが、参観日等の行事計画は変更・中止を余儀なくされた時期も多い一年であった。定期的なブログの作成や園だより・クラスだよりで日々の保育や主体的な遊びの様子も保護者の方へ発信してきた。言葉だけではイメージしづらいところを改善に努め、保育のねらいや意図を伝えていきたいと思う。
※項目 3.4 の評価結果の表示方法 A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが成果が十分でない D: 取組が不十分である	

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1.教育活動の充実	保育や日々の関わりに明確なねらいを持って柔軟性のある保育を実践していく。遊びのつながりを考えて、日々環境の再構成に努める。
2.道徳指導等の充実	子どもの態度や行動だけに注目せず、気持ちの育ちに目を向けた関わりを教師間で共有し、努める。
3.基本的な生活習慣	基本的生活習慣の大切さを継続して発信すると共に、個別でも具体的な様子を伝え、家庭との連携を図っていく。
4.安心して安全な幼稚園	毎月の避難訓練を様々な想定で実施していく。日々の園内整備、定期的な安全点検で事故・怪我を防いでいく。
5.小学校との連携	幼稚園での生活や遊びの様子を直接見て頂く機会の計画を実施して連携を深めていきたい。
6.豊かな交流体験の充実	コロナ禍での状況を見ながら、地域の学校との交流を計画・実施していきたい。園内での異年齢交流場면을意図的に設けていきたい。

6.特記事項

学校関係者の評価	特に指摘する事項はなく、妥当であると認められる。
----------	--------------------------